

## 令和6年度京都府立盲学校 第2回学校運営協議会報告

日 時 令和6年11月25日(月) 13:30~15:30

場 所 京都府立盲学校大徳寺校地 視聴覚室

出席者 委員 8名、事務局 5名

(1) 開会挨拶(会長)

(2) 日程説明

(3) 授業参観

小中学部の授業を参観

(4) 報告及び熟議

①自立と社会参加を目指した教育活動について、各学部総括主事が説明し、その後、担当教諭より取組の内容を報告しました。

②令和6年度の取組状況から今後期待される事項について、熟議されました。

(5) 意見等の概要

- ・小学部単一障害学級では、集団の確保のために他府県の視覚特別支援学校(盲学校)や居住地校との交流を積極的に行い、主体的・対話的な学びの場を設定していることがわかった。
- ・部活動では、中学部と高等部が合同で活動を行っていること、視覚障害者スポーツに全力で取り組むことで体力の向上だけでなく、自主的・主体的な活動参加が人間関係の構築や生涯学習の基礎づくりにもつながっていることがわかった。
- ・人生において趣味は身を助けるので、学校にいる間に様々な経験をする、趣味を見つける。様々な経験をしていることが、学齢期以降も豊かな生活につながる。京都ライトハウスで行われているゴールボールやフロアバレーボールなどの社会人チームの活動にも参加するなど、かかわりを広めてもらいたい。
- ・成功体験を重ねることが自信となっていることが感じられた。自立とは、自分にできることは精一杯するが、できない時には依頼をすることであると思う。できないことは、他の力を借りることも自立である。集団の中で共に育つ力を見せてもらうことができた。

(6) その他

- ・学校評価アンケートについて、副校長より説明。
- ・次回の協議会日程は2月を予定。

【写真】運営協議会にて各部の取組を紹介している様子

